

## 平成 29 年度通常総会（定時社員総会）議事録

日 時 平成 29 年 5 月 17 日（水）14 時 00 分～17 時 00 分

場 所 広島市 リーガロイヤルホテル広島 ロイヤルホール

出席者 271 名、委任状による出席者 17 名 計 288 名

（注）代議員総数 296 名（過半数は 149 名、3 分の 2 は 198 名）

司会の香取幸夫幹事から開会宣言があった後、平川勝洋会長（第 118 回通常総会・学術講演会）から挨拶があった。

### 開 会

定款第 16 条に基づき森山 寛理事長を議長に選出した。

森山 寛議長から、通常総会・学術講演会開催にあたり、平川会長はじめ広島大関係者に対する謝辞および次の事柄について等についての挨拶があった。

- 日耳鼻の運営を会員にできるだけ理解していただくため、理事会議事録を詳細にして、会報に掲載していること、また、これまで 2 年ごとの各委員会の事業報告を単年毎に総会で行うこととしたこと。
- これまで使用してきた「通常総会」の名称を定款に合わせて「定時社員総会」に変更すること。「通常総会ならびに学術講演会」を「総会・学術講演会」に変更すること。
- 日耳鼻の当面する諸課題に対応するため、「改革推進会議」、「医会全般に関するWG」、「学術に関するWG」、「会員情報の一元化に関するWG」を立ち上げ、鋭意検討を進めていること。
- 新しい専門医制度について、耳鼻咽喉科は平成 29 年から新たなプログラム(暫定プログラム)でスタートしたことなどの取り組み。
- 境界領域への対応、とくに嚥下領域に関する歯科・口腔外科の係りについて、日本歯科医師会との話し合いの会を開始したこと。
- 2021 年の IFOS 世界会議の誘致についての取り組み。
- 来年 5 月 30 日(水)の総会時に予定している日耳鼻 125 周年記念事業についての取り組み。
- 平成 29 年度の耳鼻咽喉科の志望者数などについて。

また、森山 寛議長から、今回の代議員の出席者は 271 名、委任状による出席 17 名の計 288 名で、定足数 198 名（今回は定款の変更が決議されるため、代議員 296 名の 3 分の 2）に

達しており、定款第 14 条第 1 項および第 18 条第 1 項に基づき平成 29 年度通常総会（定時社員総会）を開会するとの宣言があった。議事録署名人には鳥取県地方部会竹内裕美代議員、広島県地方部会明海国賢代議員の 2 名を指名した。

次に、平成 28 年度の物故会員 41 名に対して、黙祷を捧げた。

その後、審議に入った。

## 1. 報告事項

### 第 1 号報告 平成 28 年度事業報告について

高橋晴雄副理事長から平成 28 年度事業報告について、冊子に基づき報告があり、その後それぞれの担当理事から各委員会の事業および業務について報告があった。

### 第 2 号報告 平成 29 年度事業計画について

高橋晴雄副理事長から平成 29 年度事業計画について、冊子に基づき報告があった。

### 第 3 号報告 平成 29 年度収支予算書について

小川 郁副理事長から、平成 29 年度収支予算書（損益計算ベース）および同（資金ベース）について冊子に基づき報告があった。

地方部会を除く日耳鼻本部の収支予算としては、

I 事業活動収支の部では、事業活動収入は、前年度に比べて 27,643,000 円増の 535,897,000 円となった。増額の主なものは、5 事業収入 1) 定期集会参加者等収入の増を見込んだこと、5) 専門医審査登録料は専門医機構の負担金のための増を見込んだこと等である。また、減額の主なものは、5 事業収入 2) 展示会場収入等である。

事業活動支出は、57,265,000 円増の 590,886,000 円となった。1 事業費は、32,240,000 円増の 483,374,000 円である。増額の主なものは、(13)賃借料は総会、専門医講習会の会場費の増、(17)支払負担金は専門医機構への支払い、(20)委託費であり、(4)会議費、(5)旅費交通費が減額となっている。2 管理費は、25,025,000 円増の 107,512,000 円。増額の主なものは (5) 旅費交通費および (20) 委託費はWG設置に伴うものであり、(16) 租税公課が減となっている。

II 投資活動収支の部では、投資活動収入は、奨学基金取崩収入が 4,000,000 円、専門医制度積立預金取崩収入が 8,703,000 円等である。投資活動支出は、退職給付積立預金支出 3,586,000 円等である。

IV 予備費支出の部では、予備費 3,000,000 円を計上した。

以上日耳鼻本部をまとめると、当期収支差額は△45,710,000 円であるが、これに前期繰

越収支差額 47,000,000 円を加えて、次期繰越は 1,290,000 円となっている。

地方部会を含む日耳鼻全体としては、Ⅰ 事業活動収支の部では、事業活動収入 752,288,480 円、事業活動支出 816,103,109 円で、収支差額は△63,814,629 円である。Ⅱ 投資活動収支の部では、投資活動収入は、19,253,000 円、投資活動支出 6,634,000 円で、収支差額は 12,619,000 円である。Ⅳ 予備費支出の部では、予備費は 3,200,000 円である。これをまとめると、当期収支差額は△54,395,629 円であるが、これに前期繰越収支差額 284,515,282 円を加えて、次期繰越は 230,119,653 円となっている。

更に、森山理事長から事務所建替積立預金について、今後事務所を自前で所有する考えは少なく、金額も必要額には至っていないことから、将来現事務所の 1.5 倍程度の事務所への移転に必要な額を確保し、一部を収支予算に組入れること、また名称を例えば事務所移転準備積立預金に変更すること等を検討中であるとの報告があった。

#### 第 4 号報告 専門医制度の変更について

阪上雅史理事から、専門医制度の変更について、報告があった。

#### 第 5 号報告 会員情報の一元化について

高橋晴雄副理事長から、会員情報の一元化について、報告があった。

#### 第 6 号報告 第 119 回総会・学術講演会の宿題報告について

山唄達也次期会長から第 119 回総会・学術講演会の宿題報告を

鹿児島大学 黒野祐一会員 「上気道炎症の粘膜ワクチンによる制御」

兵庫医科大学 阪上雅史会員 「QOL からみた耳科手術戦略」

に依頼したことについて、報告があった。

## 2. 決議事項

第 1 号議案 平成 28 年度貸借対照表および正味財産増減計算書に関し、承認を求める件

小川 郁副理事長から、平成 28 年度貸借対照表、正味財産増減計算書および資金ベースの収支決算書について冊子に基づき説明があった。

地方部会を除く日耳鼻本部の収支決算としては、Ⅰ 事業活動収支の部では、事業活動収入は、予算額に対し、33,462,552 円増の 541,716,552 円となった。増額の主なものは、5 事業収入 1) 定期集会参加費等収入および 7 寄付金収入の増である。減額の主なものは、

5 事業収入 5) 専門医審査登録料収入であるが、これは制度の改正で納入時期が1年繰下げられたためである。事業活動支出は、予算額に対し、21,029,192円増の554,650,192円となった。1 事業費は、23,799,503円増の474,933,503円で、増額の主なものは、(19) 支払寄付金、(20) 委託費等である。減額の主なものは、(4) 会議費 (5) 旅費交通費、(13) 賃借料は通常総会・学術講演会での会場費、(15) 諸謝金の減である。2 管理費では、2,770,311円の増となっているが、増額の主なものは、(5) 旅費交通費、(19) 支払寄付金が熊本地震に対する寄付金 (20) 委託費がWG設置に伴う人件費の増等である。事業活動収支差額は、12,433,360減の△12,933,640円である。

Ⅱ 投資活動収支の部では、投資活動収入は、(1) 奨学基金取崩収入が4,000,000円であり、投資活動支出は、(4) 退職給付積立預金支出の4,863,550円等である。収支差額は514,758円減の△1,036,242円である。Ⅲ財務活動収支の部では、長期貸付金支出が3,167,000円で、これは日本専門医機構に対する貸付である。

以上、日耳鼻本部の決算をまとめると、当期収支差額は△17,136,882円であるが、前期繰越収支差額が54,382,261円あったため、次期繰越は37,245,379円である。

地方部会を含む日耳鼻全体としては、Ⅰ 事業活動収支の部では、事業活動収入748,463,379円、事業活動支出755,230,617円で、収支差額は△6,767,617円である。Ⅱ 投資活動収支の部では、投資活動収入は、8,694,840円、投資活動支出9,498,997円で、収支差額は△804,157円である。Ⅲ財務活動収支の部では、長期貸付金支出3,167,000円である。これをまとめると、当期収支差額は△10,738,774円であるが、これに前期繰越収支差額304,116,302円を加えて、次期繰越は293,377,528円となっている。

また、事務所建替積立預金(291,604,000円)等の多額の預金については、運用利子も少なく、また昨今の国際情勢も考慮し、利子は付かないが全額保証される「決済用普通預金」に移すとの報告があった。

監事を代表して古川 侃監事から、平成29年4月26日に浅井英世、今井昭雄、古川侃監事により行われた監査の報告があった。

平成28年度貸借対照表および正味財産増減計算書について、審議の上、原案のとおり承認した。

第2号議案 定款および定款施行細則の変更に関し、承認を求める件

高橋 姿理事から、改革推進会議からの答申に基づき変更した、定款および定款施行細則について冊子に基づき説明があり、審議の上、原案のとおり承認した。

第3号議案 第121回および第122回総会・学術講演会の会長候補者選出に関し、承認を求める件

森山 寛理事長から、第121回および第122回総会・学術講演会の会長候補者選出について、3年前の選出では会場確保が困難になっていることから、4年前の選出にすることとしたことから、昨年7月に参与、代議員に2回分の会長候補者の推薦を依頼し、その結果を参考の上に検討し、第121回会長に岡山県地方部会の西崎和則会員を、第122回会長に京都府地方部会の大森孝一会員を推薦したいとの提案があり、審議の上、これを承認した。

### 3. その他

#### 1. 医会について

森山 寛理事長から、検討が進められている耳鼻咽喉科の医会の全国的な新組織について、報告があった。

#### 2. SPIOについて

公益財団法人国際耳鼻咽喉科振興会（SPIO）野村恭也理事長から、SPIOの事業等について報告があった。

以上ですべての議事が終了した後、森山 寛議長から謝辞があり、閉会宣言があった。

平成29年5月17日

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会平成29年度通常総会（定時社員総会）

議事録署名人（議長） 森 山 寛 ⑩

議事録署名人（代議員） 竹 内 裕 美 ⑩

議事録署名人（代議員） 明 海 国 賢 ⑩